

草筆木筆で描く不思議のらんたち

# 草画帖 48



号



竹と笹の号です。

孟宗竹、黒竹、寒竹、女竹など。

細い枝、小さな筍が筆になります。

表紙は黒竹、題字は姫竹。

羅漢寺裏の定家葛

プロペラの花を廻して夏立ちぬ

病院の歸りに見たる竹の花

呼

吸



孟宗竹の筍の皮を使って。竹の呼吸で。



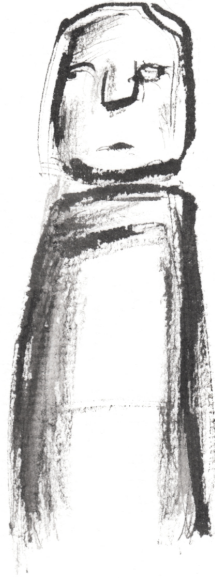
黒竹箏。昔々尺八を吹く虚無僧に憧れた。



孟宗竹筍皮筆。

たけのこや 稚き時の絵のすさび

芭蕉



黒竹筍筆。  
竹の子の力を誰にとふべき 凡兆

わらび

春になると  
心に  
つくつくど  
わらびが生える  
毎日  
たくさんの  
疑問を摘んで  
湯搔いて  
あくをぬき  
とろりとした  
答えを見つけない



たけのこ

夏になると

心を

つくんつくんと

たけのこが破る

毎日

たくさんの

衣を脱いで

はだかで

まっすぐに

とろりとした

天に背のびをしたい



女竹筍筆。皮を脱いだばかりの棹のみどり。



寒竹筆。夕日を浴びて棹が紅く輝いていた。



笹筆。身中にも笹藪はある。風に鳴り、露を置く。



笹筆。笹の花を見た。獅子座流星雨を浴びた。



姫竹の筍で書いた「悲」という字。

## 草話

竹は墨人にとつては親密な植物。画題としては四君子(蘭・竹・菊・梅)の一であり、画材としては竹筆、竹紙がある。竹筒を筆入れにして  
いる人も多いだろう。

\*

こどもの頃、近所に算盤工場があり、竹の屑がいつばい出た。それで竹馬や竹下駄、竹とんぼを作って遊んだ。女の子は算盤の玉を糸でつないでおじやみに使った。

長じては竹ペンを愛用して、文字や線画に熱中した。それがふうら画に進んでから、竹筆の面白味も識った。

\*

かく親しんでいる植物だけれど、竹と笹はなかなか難しい。日本には約六百種あるというから驚く。女竹や寒竹のように竹と呼ばれる笹もあれば、逆に阿亀笹オカメザサのような竹もある。

\*

珍竹林、変竹林、妙竹林という言葉を偏愛している。一風変わった竹林ということではない。ちんちく、へんちき、みょうちきに調子でりんが付いた当て字のようだ。竹が好きな珍竹・変竹のぼくは、そういう竹林があつたらすてきだと思ふ。



笹の花

俳句 白山鳥翁 / 絵 艸々子 / 詩 泉井小太郎

草画帖 第48号 2022年5月7日 泉井小太郎編集 六角文庫発行  
〒675-2312 兵庫県加西市北条町北条1039 Tel 0790-42-6008